

2024 年度
部局自己点検・評価報告書別紙
(評価対象年度：2023 年度)
【根拠データ、資料】
(HP 掲載用)

新潟薬科大学
応用生命科学部
大学院応用生命科学研究科
質保証推進委員会

目 次

資料 3_I-1_(1)-1	過去 6 年の入学者数と学部全体の定員充足率	1
資料 3_I-1_(1)-2	過去 2 年の夏季オープンキャンパスへの参加者	1
資料 3_I-1_(1)-3	過去 4 年のオープンキャンパスへの参加者数（3 年生＋既卒生）	1
資料 3_I-1_(1)-4	過去 4 年のオープンキャンパスからの出願率（全学）	1
資料 3_I-1_(1)-5	過去 4 年の手続き者、辞退者、入学者の推移	2
資料 3_I-1_(1)-6	過去 5 年のガイダンス等実施状況	2
資料 3_I-1_(1)-7	過去 5 年の資料請求者状況	2
資料 3_I-1_(1)-8	過去 5 年の資料請求者に対する受験者、入学者の割合	2
資料 3_I-1_(1)-9	過去 4 年の都道府県別入学者	2
資料 3_I-1_(2)-1	AP の入学者選抜におけるその評価法	3
資料 3_I-1_(2)-2	2023 年度および 2024 年度入学試験 入学予定者数一覧	4
資料 3_I-1_(2)-3	2022 年度および 2023 年度高大連携講座参加者数一覧	4
資料 3_I-1_(2)-4	2023 年度および 2024 年度入学試験 辞退者数一覧	5
資料 3_I-1_(2)-5	令和 6 年度国公立大学入学者選抜の概要（文部科学省資料より抜粋）	5
資料 3_I-1_(2)-6	大学入学者選抜の実態の把握及び分析等に関する調査研究調査報告書（令和 5 年度 文部科学省委託調査報告書より抜粋）	6
資料 3_I-1_(3)-1	応用生命科学科の留年・退学状況	6
資料 3_I-1_(3)-2	生命産業ビジネス学科の留年・退学状況	6
資料 3_I-1_(3)-3	2023 年度入学者アンケート	7
資料 3_I-1_(3)-4	2023 年度応用生命科学科プレイスメントテスト(化学)	7
資料 3_I-1_(3)-5	2023 年度応用生命科学科プレイスメントテスト(生物)	7
資料 3_I-1_(3)-6	2023 年度応用生命科学部プレイスメントテスト(英語)	8
資料 3_I-1_(3)-7	2023 年度応用生命科学科入試区分・入試成績と 1 年次成績ならびにプレイスメントテスト成績との相関について	9
資料 3_I-1_(3)-8	2023 年度生命産業ビジネス学科入試区分・入試成績と 1 年次成績ならびにプレイスメントテスト成績との相関について	10
—	—	—
資料 3_I-2_(2)-1	2023 年度応用生命科学科到達度試験(化学)	11
資料 3_I-2_(2)-2	2023 年度応用生命科学科到達度試験(生物)	11
資料 3_I-2_(2)-3	2023 年度生命産業ビジネス学科到達度試験(英語)	12
資料 3_I-2_(2)-4	2023 年度応用生命科学科 DP ルーブリック評価	12
資料 3_I-2_(2)-5	2023 年度生命産業創造学科 DP ルーブリック評価	13
資料 3_I-2_(2)-6	2023 年度授業評価平均点	13
資料 3_I-2_(2)-7	2023 年度卒業時アンケート	14
資料 3_I-2_(2)-8	2023 年度卒業生の免許取得状況	14
資料 3_I-2_(3)-1	2023 年度前期モニタリング科目	15
資料 3_I-2_(3)-2	2023 年度後期モニタリング科目	15
資料 3_I-3_(1)-1	応用生命科学部退学休学留年率	16
資料 3_I-3_(1)-2	2022 年面談基準	16
資料 3_I-3_(1)-3	アドバイザー活動状況	17
資料 3_I-3_(1)-4	オリエンテーションスケジュール	17
資料 3_I-3_(1)-5	学ランマップ 2,000 円チケット実施結果	17
資料 3_I-3_(1)-6	スキースノーボードスクール参加者数	18
資料 3_I-3_(1)-7	特待生採用者数及び廃止者数一覧	18

資料 3_I-3_(2)-1	キャリア教育	18
資料 3_I-3_(2)-2	ガイダンス実施実績（1 年生対象）	18
資料 3_I-3_(2)-3	ガイダンス実施実績	19
資料 3_I-3_(2)-4	ガイダンス実施実績（学内合同企業説明会）	20
資料 3_I-3_(2)-5	就職/進学状況	20
資料 3_I-4-1	2023 年度応用生命科学研究科卒業生 DP ルーブリック評価	20
資料 3_I-4-2	2023 年度生命産業創造学科卒業生 DP ルーブリック評価	21
資料 3_I-4-3	AP および入試成績と成績順位の相関関係	21
資料 3_II-1	2023 年度 応用生命科学部 研究業績	23
資料 3_II-2	2023 年度 応用生命科学部 外部資金獲得状況	23
資料 3_III-1-1	2023 年度海外協定校一覧	23
資料 3_III-1-2	2023 年度学生海外派遣事業参加実績	23
資料 3_III-2-1	申込者、修了証授与者、入学者数	24
資料 3_III-2-2	新潟県内及び新潟県外の申請件数および採択件数	24
資料 3_III-3-1	2023 年度の主な地域連携活動の一覧	25
資料 3_IV-1-1	設置基準上必要専任教員数【学士課程】	25
資料 3_IV-1-2	教員の年齢構成表	25
資料 3_IV-1-3	教員別授業担当時間数	26
資料 3_IV-2-1	2022 年度 FD 研修会一覧	26
資料 3_IV-2-2	2023 年度 FD 研修会一覧	27
資料 3_V-1	応用生命科学部 収容定員充足率	27
資料 3_V-2	応用生命科学部 入学定員充足率	27
資料 3_V-3	応用生命科学部 学費	28
資料 4_I-1-1	大学院入試結果	29
—	—	—
資料 4_I-3-1	2023 年度応用生命科学研究科博士前期課程修了生 DP ルーブリック評価	30
資料 4_II-1	設置基準上必要専任教員数【大学院課程】	30
資料 4_III-1	応用生命科学研究科 収容定員充足率	31
資料 4_III-2	応用生命科学研究科 入学定員充足率	31

※赤字の資料は、学外非公表

3. 応用生命科学部 自己点検・評価

I. 教育活動について

I-1. 学生の受入れについて

(1) 広報活動について 《点検担当：松本委員、入試課》

【資料 3_I-1_(1)-1：過去 6 年の入学者数と学部全体の定員充足率】

[学部全体の充足率]						
入試年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
応用生命科学科入学者数（定員120名）	95	101	105	97	80	78
生命産業創造学科入学者数（定員60名→23Sは45名）	27	35	35	26	51	54
学部全体の充足率 [%]	67.8	75.6	79.4	68.3	79.3	80.0%

【資料 3_I-1_(1)-2：過去 2 年の夏季オープンキャンパスへの参加者】

【資料 3_I-1_(1)-3：過去 4 年のオープンキャンパスへの参加者数（3 年生＋既卒生）】

【資料 3_I-1_(1)-4：過去 4 年のオープンキャンパスからの出願率（全学）】

【資料 3_I-1_(1)-5 : 過去 4 年の手続き者、辞退者、入学者の推移】

【資料 3_I-1_(1)-6 : 過去 5 年のガイダンス等実施状況】(全学)

【資料 3_I-1_(1)-7 : 過去 5 年の資料請求者状況】(全学)

【資料 3_I-1_(1)-8 : 過去 5 年の資料請求者に対する受験者、入学者の割合】

【資料 3_I-1_(1)-9 : 過去 4 年の都道府県別入学者】

(2) 入学者選抜・入学試験結果について 《点検担当：小瀬委員、入試課》

【資料 3_I-1_(2)-1：AP の入学者選抜におけるその評価法】

◆アドミッション・ポリシーと評価方法

応用生命科学科

入学前に修得が望まれる知識・能力	学校推薦型選抜 (指定校制)	評価方法				
		学校推薦型選抜 (一般公募専願制・ 高大連携講座)	一般選抜 (個別方式)	一般選抜 (大学入学 共通テスト利用方式)	総合型選抜	特別選抜
主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度	面接 調査書	面接 調査書	出願時作文 調査書	出願時作文 調査書	面接 調査書	面接 志望理由書
理科の基礎的な知識及びそれらを応用する能力	調査書	課題 調査書	学力検査 調査書	大学入学 共通テストの成績 調査書	選択試験 調査書	基礎学力調査
数学の基礎的な知識及びそれらを応用する能力	調査書	課題 調査書	学力検査 調査書	大学入学 共通テストの成績 調査書	調査書	基礎学力調査
国語及び英語の基礎的な文章読解力、表現力 及びコミュニケーション能力	面接 調査書	課題 面接 調査書	学力検査 出願時作文 調査書	大学入学 共通テストの成績 出願時作文 調査書	選択試験 面接 志望理由書 調査書	面接 志望理由書

生命産業ビジネス学科

入学前に修得が望まれる知識・能力	学校推薦型選抜 (指定校制)	評価方法				
		学校推薦型選抜 (一般公募専願制・ 高大連携講座)	一般選抜 (個別方式)	一般選抜 (大学入学 共通テスト利用方式)	総合型選抜	特別選抜
主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度	面接 調査書	面接 調査書	出願時作文 調査書	出願時作文 調査書	面接 調査書	面接 志望理由書
社会科学の基礎的な知識及びそれらを応用する 能力	調査書	課題 調査書	学力検査 調査書	大学入学 共通テストの成績 調査書	選択試験 調査書	面接
自然科学の基礎的な知識及びそれらを応用する 能力	調査書	課題 調査書	学力検査 調査書	大学入学 共通テストの成績 調査書	調査書	基礎学力調査
国語及び英語の基礎的な文章読解力、表現力 及びコミュニケーション能力	面接 調査書	課題 面接 調査書	学力検査 出願時作文 調査書	大学入学 共通テストの成績 出願時作文 調査書	選択試験 面接 志望理由書 調査書	基礎学力調査 面接 志望理由書

【資料 3_I-1_(2)-2 : 2023 年度および 2024 年度入学試験 入学予定者数一覧】

【応用生命科学部 応用生命科学科】2023年度入試結果

入試区分		定員	志願者	受験者	合格者	入学者	
総合型	前期	若干	4	4	4	4	
	課外活動経路型		1	1	1	1	
	中期		3	3	3	3	
	後期		0	0	0	0	
推薦型	一般公募	35	1	1	1	1	
	高大連携講座		4	4	4	4	
	指定校制		Ⅰ期県内	6	6	6	6
			Ⅰ期県内(特別)	14	14	14	14
			Ⅰ期県外	1	1	1	1
			Ⅱ期	1	1	1	1
特別	社会人 外国人留学生	若干	0	0	0	0	
一般選抜	個別方式	35	41	40	37	21	
	Ⅰ期A日 Ⅱ期A日(学内併願)		11	11	7	1	
	Ⅰ期B日 Ⅱ期B日(学内併願)		21	20	20	4	
	Ⅰ期B日(学内併願)		12	11	8	2	
編入学		若干	0	0	0	0	
一般選抜	共テA日 Ⅰ期	10	78	78	70	11	
	共テA日 Ⅱ期		9	9	5	1	
	個別方式		Ⅱ期	5	5	1	1
	Ⅲ期		2	2	2	1	
	共テB日 Ⅰ期		2	2	1	0	
	共テB日 Ⅱ期		2	2	0	0	
	共テB日 Ⅲ期(理数重視型)		3	3	3	1	
	共テB日 Ⅳ期(理数重視型)		0	0	0	0	
	共テC日 Ⅰ期		2	2	2	2	
	共テC日 Ⅱ期		1	1	1	0	
	共テC日 Ⅲ期		1	1	1	0	
	共テC日 Ⅳ期		1	1	1	0	
	共テC日 Ⅴ期		1	1	1	0	
	共テC日 Ⅵ期		1	1	1	0	
合計			120	224	217	192	80

【応用生命科学部 応用生命科学科】2024年度入試結果

入試区分		定員	志願者	受験者	合格者	入学者	
総合型	前期	若干	5	5	5	5	
	一般方式		3	3	3	3	
	一般公募		0	0	0	0	
推薦型	後期	35	5	5	5	5	
	公募制Ⅰ期		1	1	1	1	
	公募制Ⅱ期		2	2	2	2	
	高大連携講座		2	2	2	2	
	Ⅰ期		9	9	9	9	
	指定校制		9	9	9	9	
特別	Ⅰ期(特待生)	若干	0	0	0	0	
	Ⅱ期		0	0	0	0	
社会人 外国人留学生	若干	0	0	0	0		
		0	0	0	0		
一般選抜	個別方式	35	51	49	46	20	
	Ⅰ期(卒内併願)		12	12	10	4	
編入学		若干	0	0	0	0	
一般選抜	共テA日Ⅰ期		20	70	70	63	12
	共テA日Ⅱ期			13	13	11	1
	Ⅱ期		10	9	4	3	
	個別方式		5	1	1	1	1
	Ⅰ期並み試験(卒内併願)			2	1	1	1
	Ⅲ期			3	3	3	2
	共テB日Ⅰ期		5	1	1	1	0
	共テB日Ⅱ期			3	3	3	0
	共テB日Ⅲ期			1	1	1	0
	共テC日Ⅰ期		5	0	0	0	0
	共テC日Ⅱ期			1	1	1	0
	共テC日Ⅲ期			1	1	1	0
	共テD日Ⅰ期		5	1	1	1	0
	共テD日Ⅱ期			1	1	1	0
	共テD日Ⅲ期			1	1	1	0
	合計			120	201	193	178

【応用生命科学部 生命産業ビジネス学科】2023年度入試結果

入試区分		定員	志願者	受験者	合格者	入学者	
総合型	前期	若干	2	2	2	2	
	課外活動経路型		2	2	2	2	
	中期		4	4	4	4	
	後期		0	0	0	0	
推薦型	一般公募	20	2	2	2	2	
	高大連携講座		2	2	2	2	
	指定校制		I期県内	10	10	10	10
			I期県内(特別)	6	6	6	6
			II期県外	2	2	2	2
			II期	1	1	1	1
特別	社会人 外国人留学生	若干	0 0	0 0	0 0	0 0	
一般選抜	個別方式		15	I期A日 Ⅰ期	11	10	9
	I期A日 Ⅱ期(学内併願)	2		2	2	1	
	I期B日 Ⅰ期	10		10	9	1	
	I期B日 Ⅱ期(学内併願)	5		5	3	0	
編入学		若干	0	0	0	0	
一般選抜	共テA日 Ⅰ期	10	39	39	37	9	
	共テA日 Ⅱ期		9	9	9	0	
	個別方式		Ⅰ期	1	0	0	0
	Ⅱ期		0	0	0	0	
	共テB日 Ⅰ期	若干	0	0	0	0	
	共テB日 Ⅱ期		2	2	2	1	
	共テC日 Ⅰ期		3	3	3	3	
	共テC日 Ⅱ期		1	1	1	1	
	共テC日 Ⅲ期	若干	1	1	1	1	
	共テC日 Ⅳ期		1	1	1	1	
	共テC日 Ⅴ期		1	1	1	1	
	共テC日 Ⅵ期		1	1	1	1	
	合計		45	114	112	106	51

【応用生命科学部 生命産業ビジネス学科】2024年度入試結果

入試区分		定員	志願者	受験者	合格者	入学者	
総合型	前期	若干	6	6	6	6	
	一般方式		1	1	1	1	
	課外活動経路型		1	1	1	1	
推薦型	後期	20	1	1	1	0	
	一般方式		1	1	1	0	
	一般公募		5	5	4	4	
	公募制Ⅰ期		1	1	1	1	
	公募制Ⅱ期		2	2	2	2	
	高大連携講座		14	14	14	14	
	指定校制		6	6	6	6	
特別	Ⅰ期	若干	0	0	0	0	
	Ⅱ期(特待生)		0	0	0	0	
社会人	外国人留学生	若干	0	0	0	0	
			0	0	0	0	
一般選抜	個別方式	Ⅰ期	15	17	14	12	7
編入学		若干	8	6	6	1	0
			0	0	0	0	0
一般選抜	共テA日Ⅰ期	10	25	25	23	5	
	共テA日Ⅱ期		13	13	13	0	
	個別方式	若干	4	1	1	1	
	Ⅰ期試験型(学内併願)		2	1	1	0	
	Ⅱ期	若干	1	1	1	1	
	Ⅲ期		3	3	2	1	
	共テB日Ⅰ期	若干	1	1	1	0	
	共テB日Ⅱ期		4	4	4	3	
	共テC日Ⅰ期	若干	0	0	0	0	
	共テC日Ⅱ期		0	0	0	0	
	共テD日Ⅰ期	若干	0	0	0	0	
	共テD日Ⅱ期		1	1	1	1	
	合計		45	115	106	100	54

【資料 3_I-1_(2)-3 : 2022 年度および 2023 年度高大連携講座参加者数一覧】

高大連携講座修了者数

応用生命科学講座

年度	申込者	修了者
2022年度	25	13
2023年度	16	8

2022年度修了者(3年生10名、2年生3名)

2023年度修了者(3年生8名)

生命産業ビジネス講座

年度	申込者	修了者
2022年度	14	9
2023年度	19	11

2022年度修了者(3年生7名、2年生2名)

2023年度修了者(3年生8名、2年生2名、1年生1名)

【資料 3_I-1_(2)-4：2023 年度および 2024 年度入学試験 辞退者数一覧】

【資料 3_I-1_(2)-5：令和 6 年度国公立大学入学者選抜の概要（文部科学省資料より抜粋）】

2. 総合型選抜を実施する大学・学部数等の状況

（1）実施大学・学部数の推移							
（ ）は、全体数に対する割合							
区 分	令和 6 年度		令和 5 年度		令和 4 年度		
	大学	学部	大学	学部	大学	学部	
国 立	64 (78.0)	264 (65.3)	64 (78.0)	261 (64.8)	64 (78.0)	258 (64.3)	
公 立	41 (42.3)	85 (38.5)	40 (41.7)	82 (38.5)	38 (40.4)	77 (36.8)	
合 計	105 (58.7)	349 (55.8)	104 (58.4)	343 (55.7)	102 (58.0)	335 (54.9)	
全 体 計	国 立	82	82	403	82	401	
	公 立	97	221	96	213	94	209
	計	179	625	178	616	176	610

（2）募集人員の推移							
（ ）は、全体の募集人員に対する割合							
区 分	令和 6 年度		令和 5 年度		令和 4 年度		
	大学	学部	大学	学部	大学	学部	
国 立	6,578 (6.9)	6,403 (6.7)	6,291 (6.6)				
公 立	1,342 (4.0)	1,265 (3.8)	1,122 (3.5)				
合 計	7,920 (6.1)	7,668 (6.0)	7,413 (5.8)				
全 体 計	国 立	95,241	95,047	94,901			
	公 立	33,658	33,135	32,429			
	計	128,899	128,182	127,330			

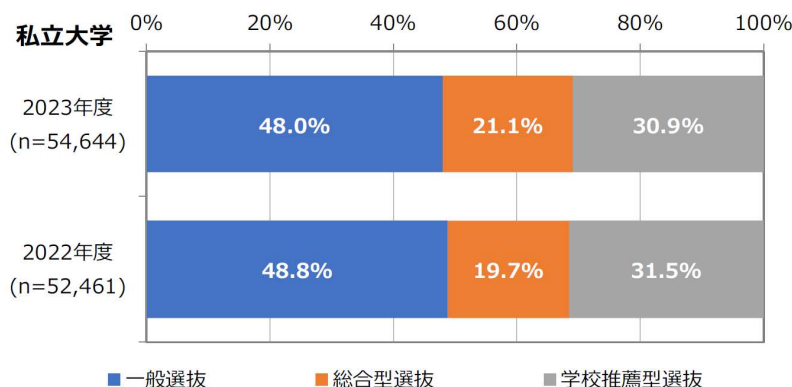
3. 学校推薦型選抜を実施する大学・学部数等の推移

（1）実施大学・学部数の推移							
（ ）は、全体数に対する割合							
区 分	令和 6 年度		令和 5 年度		令和 4 年度		
	大学	学部	大学	学部	大学	学部	
国 立	77 (93.9)	288 (71.3)	77 (93.9)	289 (71.7)	77 (93.9)	283 (70.6)	
公 立	96 (99.0)	215 (97.3)	95 (99.0)	207 (97.2)	93 (98.9)	203 (97.1)	
合 計	173 (96.6)	503 (80.5)	172 (96.6)	496 (80.5)	170 (96.6)	486 (79.7)	
全 体 計	国 立	82	82	403	82	401	
	公 立	97	221	96	213	94	209
	計	179	625	178	616	176	610

（2）募集人員の推移							
（ ）は、全体の募集人員に対する割合							
区 分	令和 6 年度		令和 5 年度		令和 4 年度		
	大学	学部	大学	学部	大学	学部	
国 立	12,498 (13.1)	12,238 (12.9)	11,901 (12.5)				
公 立	9,253 (27.5)	8,949 (27.0)	8,684 (26.8)				
合 計	21,751 (16.9)	21,187 (16.5)	20,585 (16.2)				
全 体 計	国 立	95,241	95,047	94,901			
	公 立	33,658	33,135	32,429			
	計	128,899	128,182	127,330			

【資料 3_I-1_(2)-6：大学入学者選抜の実態の把握及び分析等に関する調査研究(令和5年度 文部科学省委託調査資料より抜粋)】

図表 3-6 【前回調査との比較】選抜方法（私立大学・選抜区分別）



(3) 新入学生の状況について ≪点検担当：重松委員、教務第一課≫

【資料 3_I-1_(3)-1：応用生命科学科の留年・退学状況】

【応用生命科学部応用生命科学科】

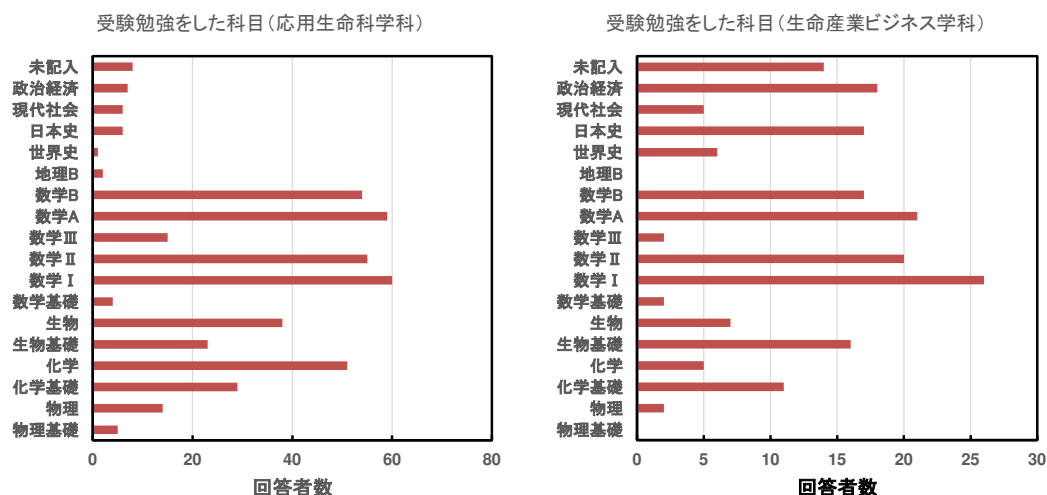
入学年度	R2 (2020)					R3 (2021)					R4 (2022)					R5 (2023)					R6 (2024)					
	入学定員	進学率	進学率 進学率	進学率	進学率	入学定員	進学率	進学率 進学率	進学率	進学率	入学定員	進学率	進学率 進学率	進学率	進学率	入学定員	進学率	進学率 進学率	進学率	進学率	入学定員	進学率	進学率 進学率	進学率	進学率	
入学年度	101	-	8	7.92%	6	5.94%	108	-	1	0.93%	7	6.48%	97	-	4	4.12%	3	3.09%	80	-	1	1.25%	1	1.25%	78	-
2年次数	87	86.14%	3	3.45%	3	3.45%	100	92.59%	4	4.00%	8	8.00%	90	92.78%	2	2.22%	5	5.56%	78	97.90%	-	-	-	-	-	-
3年次数	81	80.20%	0	0.00%	0	0.00%	88	81.48%	1	1.14%	3	3.41%	83	85.57%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4年次数	81	80.20%	1	1.23%	4	4.94%	84	77.78%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
卒業人数	76	75.25%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

【資料 3_I-1_(3)-2：生命産業ビジネス学科の留年・退学状況】

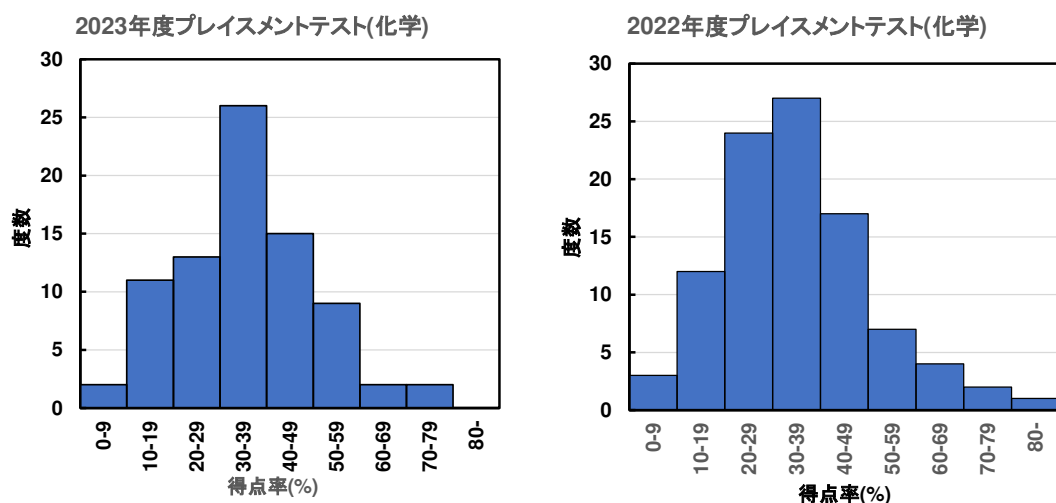
【応用生命科学部生命産業ビジネス学科／生命産業創造学科】

入学年度	R2 (2020)					R3 (2021)					R4 (2022)					R5 (2023)					R6 (2024)					
	入学定員 （募集定員）	進級者 （卒業生）	進学率 （％）	退学者 （％）	留年率 （％）	入学定員 （募集定員）	進級者 （卒業生）	進学率 （％）	退学者 （％）	留年率 （％）	入学定員 （募集定員）	進級者 （卒業生）	進学率 （％）	退学者 （％）	留年率 （％）	入学定員 （募集定員）	進級者 （卒業生）	進学率 （％）	退学者 （％）	留年率 （％）	入学定員 （募集定員）	進級者 （卒業生）	進学率 （％）	退学者 （％）	留年率 （％）	
入学年度 5月1日現在	35	—	2	5.71%	0	0.00%	38	—	0	0.00%	1	2.63%	26	—	1	3.85%	3	11.54%	51	—	1	1.96%	0	0.00%	57	—
2年次数	33	94.29%	0	0.00%	2	6.06%	37	97.37%	0	0.00%	1	2.70%	22	84.62%	0	0.00%	0	0.00%	50	98.04%	—	—	—	—	—	—
3年次数	31	88.57%	1	3.23%	0	0.00%	36	94.74%	0	0.00%	0	0.00%	22	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
4年次数	30	85.71%	0	0.00%	1	3.33%	36	94.74%	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
卒業生数	29	82.86%	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

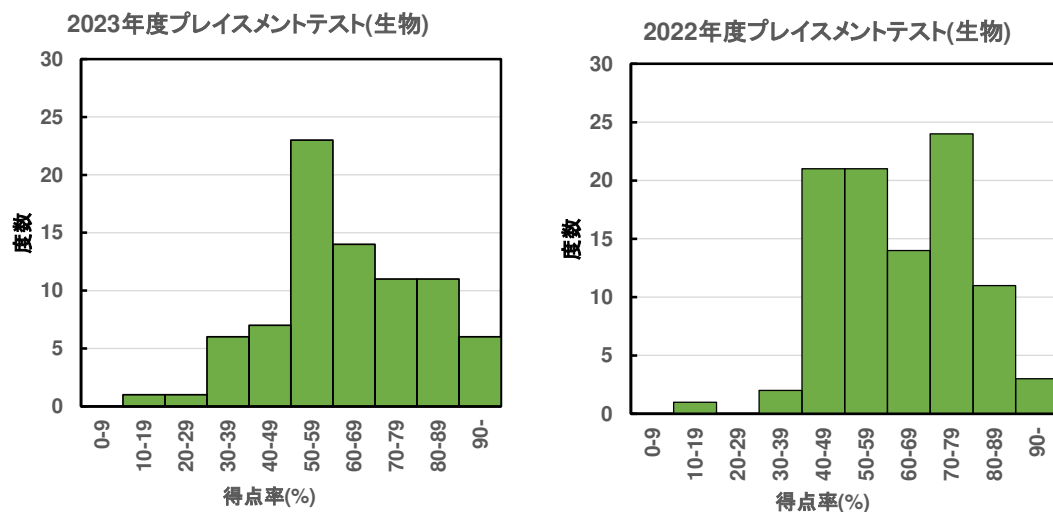
【資料 3_I-1_(3)-3 : 2023 年度入学者アンケート】



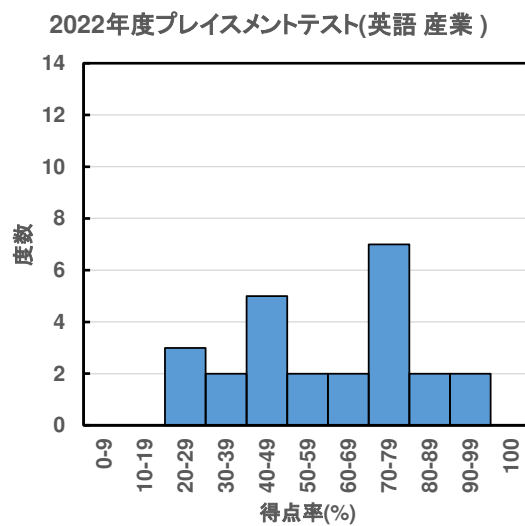
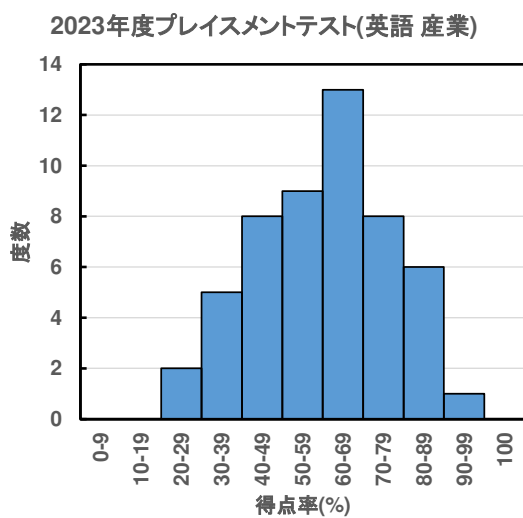
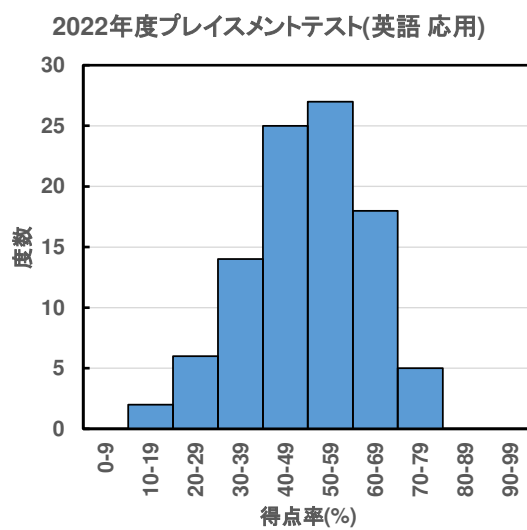
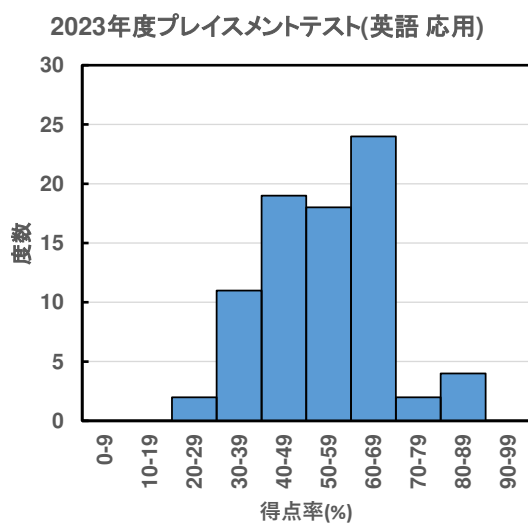
【資料 3_I-1_(3)-4 : 2023 年度応用生命科学科プレイスメントテスト(化学)】



【資料 3_I-1_(3)-5 : 2023 年度応用生命科学科プレイスメントテスト(生物)】

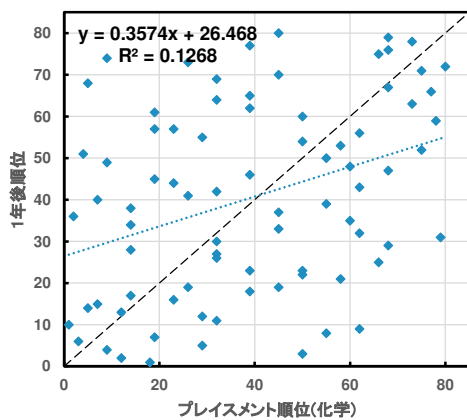


【資料 3_I-1_(3)-6：2023 年度応用生命科学部プレイスメントテスト(英語)】

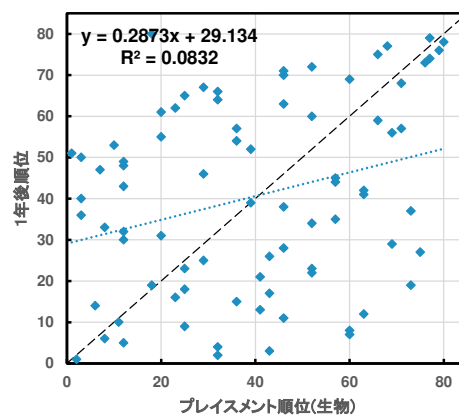


【資料 3_I-1_(3)-7：2023 年度応用生命科学科入試区分・入試成績と 1 年次成績ならびに
プレイメントテスト成績との相関について】

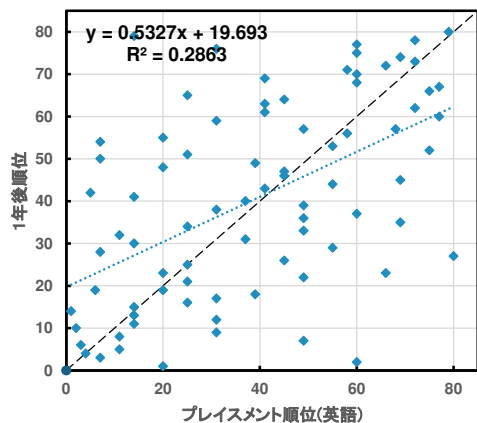
プレイメント順位(化学) vs 1年後順位



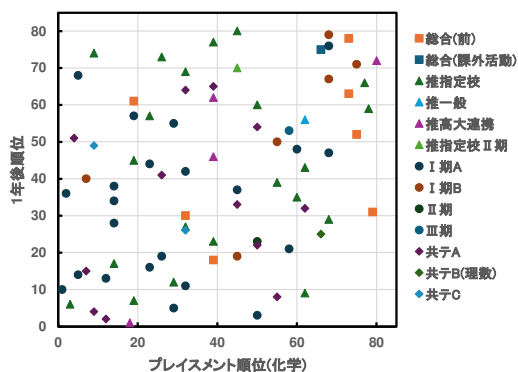
プレイメント順位(生物) vs 1年後順位



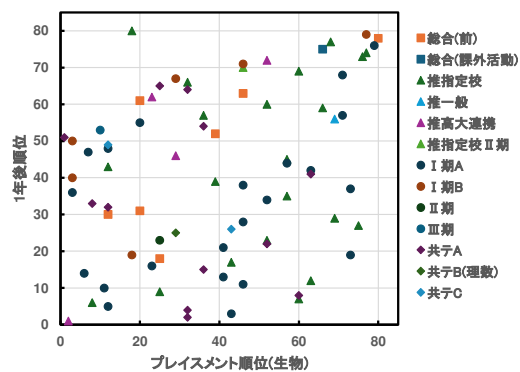
プレイメント順位(英語) vs 1年後順位



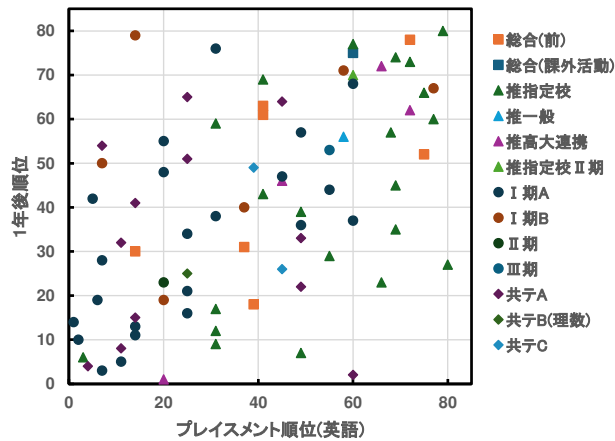
プレイメント順位(化学) vs 1年後順位



プレイメント順位(生物) vs 1年後順位

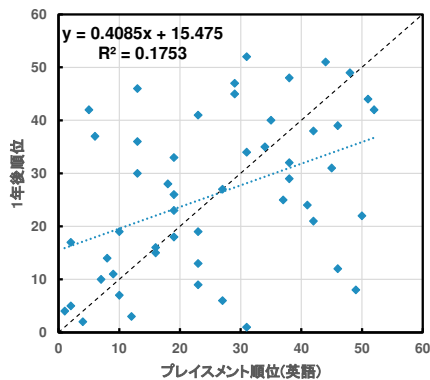


プレースメント順位(英語) vs 1年後順位

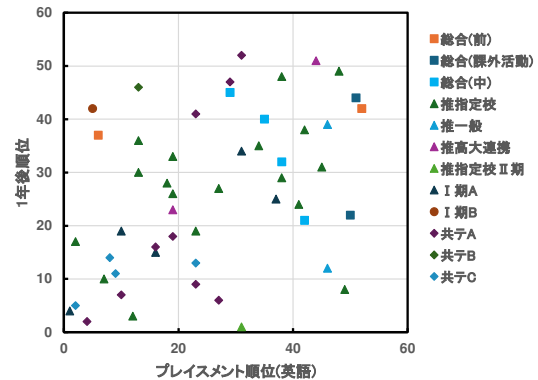


【資料 3_I-1_(3)-8 : 2023 年度生命産業ビジネス学科入試区分・入試成績と 1 年次成績ならびにプレースメントテスト成績との相関について】

プレースメント順位(英語) vs 1年後順位



プレースメント順位(英語) vs 1年後順位

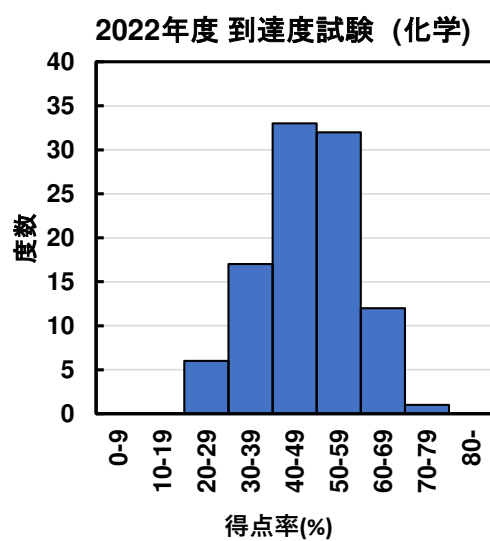
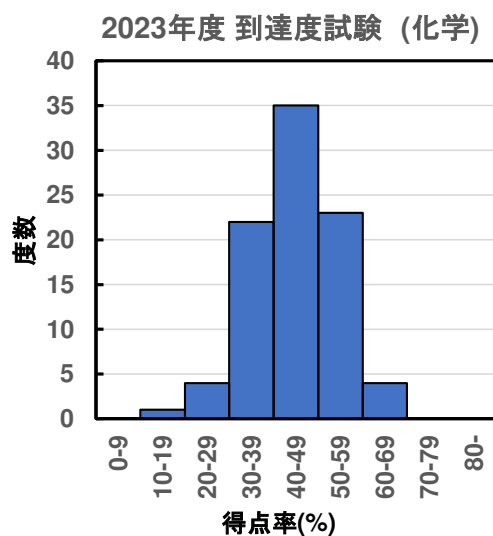


I-2. 学習成果について

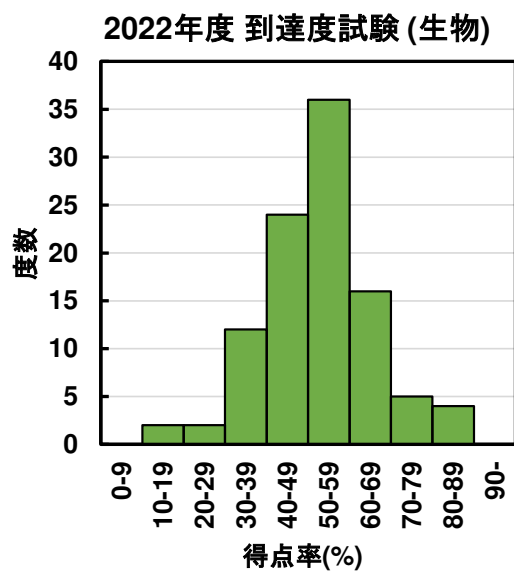
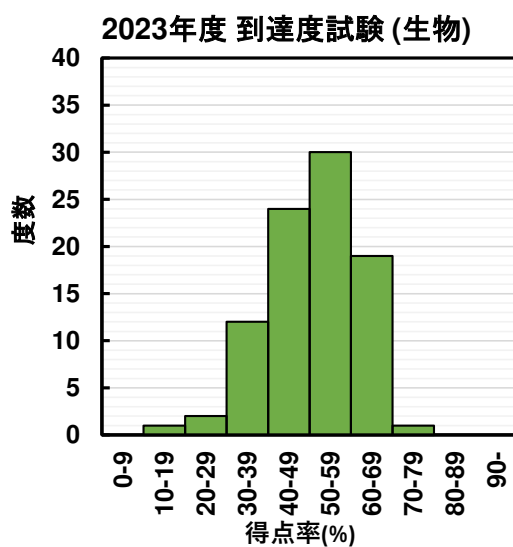
(1) 教育課程の編成・実施について <<点検担当：重松委員、教務第一課>>

(2) 学修成果について 《点検担当：重松委員、教務第一課》

【資料 3_I-2_(2)-1：2023 年度応用生命科学科到達度試験(化学)】



【資料 3_I-2_(2)-2：2023 年度応用生命科学科到達度試験(生物)】



【資料 3_I-2_(2)-3 : 2023 年度生命産業ビジネス学科到達度試験(英語)】

2年次

平均値 (年度比)

2023年度 (23S)	2022年度 (22S)
21.32	19.26

2023年度結果詳細

レベル	問題数 (合計50問)	正答率70%以上 の問題数	正答率70%未満 30%以上の問題数	正答率30%未満 の問題数
英検 3 級	10問	3	6	1
英検準 2 級	20問	0	13	7
英検 2 級	20問	1	16	3

3年次

平均値 (年度比)

2023年度 (23S)	2022年度 (22S)
18.68	20.71

2023年度結果詳細

レベル	問題数 (合計50問)	正答率70%以上 の問題数	正答率70%未満 30%以上の問題数	正答率30%未満 の問題数
英検準 2 級	20問	1	13	6
英検 2 級	30問	0	21	9

【資料 3_I-2_(2)-4 : 2023 年度応用生命科学科 DP ルーブリック評価】

2023年度生応用生命科学科卒業生_DPルーブリック集計_平均点

No.	応用生命科学科 ディプロマ・ポリシー(DP)	自己評価 (学生) 平均	客観的評価 (担当教員) 平均
1-1	1. 生命を尊重する心、他人を思いやる心などの豊かな人間性と倫理観を備え、人と人との共感の累積をめざすコミュニケーション能力を有する。	2.51	2.93
1-2		2.55	3.06
2	2. バイオ工学・環境科学・食品科学を包括する生命科学分野、理科教育分野の抱える課題を探究し解決するために、高度な知識・技能を備え、それらを応用できる能力を有する。	2.66	3.01
3	3. 数量的スキル及び情報リテラシーを身に付け、各種情報を収集、分析して適正に判断し、活用できる能力を有する。	2.54	3.02
4	4. 修得した科学的知識や洞察力に基づき、客観的かつ論理的に思考し、理解を得るための優れたプレゼンテーションができる能力を有する。	2.51	3.13
5	5. 地域的視点と国際的視野を持ち、学修経験を総合的に活用することで、地域及び国際社会の諸問題の本質を見極めながら課題を探究する能力と課題を解決する能力を有する。	2.51	2.87
全体平均		2.55	3.00

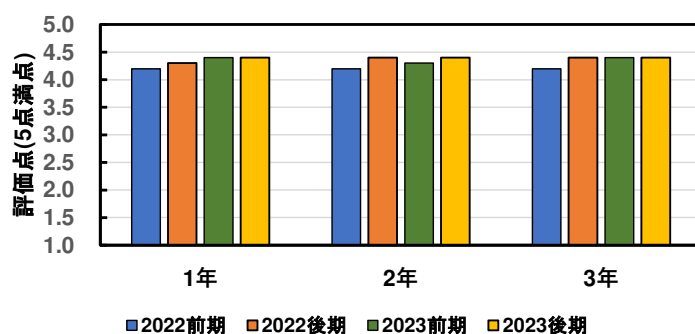
【資料 3_I-2_(2)-5 : 2023 年度生命産業創造学科 DP ルーブリック評価】

2023年度生命産業創造学科卒業生_DPルーブリック集計_平均点

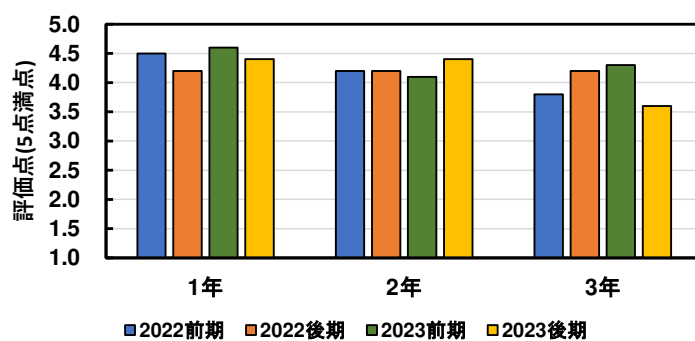
No.	生命産業創造学科 ディプロマ・ポリシー(DP)	自己評価 (学生) 平均	客観的評価 (担当教員) 平均
1-1	1. 生命を尊重する心、他人を思いやる心を持つ豊かな人間性と倫理観を備え、人と人との共感の累積をめざすコミュニケーション能力を有する。	2.37	3.13
1-2	人と人との共感の累積をめざす人間関係形成ができる。	2.63	3.43
2	2. 生命・食料・農業・環境に関わる産業領域の課題に取り組む、基盤となる幅広い知識と教養を備え、柔軟な思考力を有する。	2.50	3.20
3	3. 農林水産業及び食品・環境・生命産業の事業の経営課題に取り組むための広い視野と積極的な意欲を持てる能力を有する。	2.33	2.93
4	4. ICTを用いて情報を収集・分析し、適正に判断して活用できる能力を有する。	2.27	3.03
5	5. 修得した科学的知識や洞察力に基づき、客観的かつ論理的に思考し、プレゼンテーションできる能力を有する。	2.60	3.20
6	6. 地域社会と国際社会の変化に注視し、広い視野を持って積極的に活躍しようとする意欲を持続できる能力を有する。	2.53	3.40
	全体平均	2.46	3.19

【資料 3_I-2_(2)-6 : 2023 年度授業評価平均点】

各学年の授業評価平均点(応用生命科学科)



各学年の授業評価平均点(生命産業ビジネス学科)



【資料 3_I-2_(2)-7 : 2023 年度卒業時アンケート】

【設問3】 応用生命科学部での学び（授業のほか正課外学習も含む）について、満足度を以下の1～5で評価してください。また、コメント欄に「回答した理由」を自由に入力してください。

		1.非常に不満	2.やや不満	3.どちらともいえない	4.ある程度満足	5.非常に満足	総計
応用生命科学科	2020	1 1.0%	4 4.2%	15 15.6%	56 58.3%	20 20.8%	96 100.0%
	2021	2 2.7%	2 2.7%	11 14.7%	40 53.3%	20 26.7%	75 100.0%
	2022		1 1.2%	8 9.9%	41 50.6%	31 38.3%	81 100.0%
	2023	1 1.3%	2 2.5%	8 10.0%	39 48.8%	30 37.5%	80 100.0%
	合計	4 1.2%	9 2.7%	42 12.7%	176 53.0%	101 30.4%	332 100.0%
生命産業創造学科	2020			9 21.4%	26 61.9%	7 16.7%	42 100.0%
	2021			5 17.9%	20 71.4%	3 10.7%	28 100.0%
	2022			3 15.0%	8 40.0%	9 45.0%	20 100.0%
	2023		1 3.6%	4 14.3%	17 60.7%	6 21.4%	28 100.0%
	合計		1 0.8%	21 17.8%	71 60.2%	25 21.2%	118 100.0%
総計		4 0.9%	10 2.2%	63 14.0%	247 54.9%	126 28.0%	450 100.0%

【資料 3_I-2_(2)-8 : 2023 年度卒業生の免許取得状況】

		取得者数の推移									
資格名		2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
小学校教諭二種免許状	取得者数	—	—	—	—	2	1	0	0	0	3
	累計	—	—	—	—	2	3	3	3	3	6
中学校教諭一種免許状（理科）	取得者数	1	16	14	12	16	22	19	10	15	16
	累計	1	17	31	43	59	81	100	110	125	141
高等学校教諭一種免許状（理科）	取得者数	1	16	20	13	18	23	21	10	16	17
	累計	1	17	37	50	68	91	112	122	138	155
中学校教諭専修免許状（理科）	取得者数	—	—	—	—	—	2	0	0	0	0
	累計	—	—	—	—	—	2	2	2	2	2
高等学校教諭専修免許状（理科）	取得者数	—	—	—	—	—	2	0	0	0	0
	累計	—	—	—	—	—	2	2	2	2	2

(3) 授業運営について <<点検担当：重松委員、教務第一課>>

【資料 3_I-2_(3)-1：2023 年度前期モニタリング科目】

2023年度前期 出欠状況調査対象科目

学科	学年	時限	科目名	担当教員(敬称略)
応用生命科学科	1	月 曜 1 限	化学Ⅰ	新井
		水 曜 1 限	生物学Ⅰ	市川、重松 他
		金 曜 2 限	フレッシュヤーズ・セミナー	村上 他(入力担当:小長谷)
	2	月 曜 1 限	有機化学Ⅰ	中村、小島
		木 曜 1 限	食品化学	松本
生命産業ビジネス学科	1	火 曜 1 限	学習論	伊藤(美)
		木 曜 1 限	基礎経済学Ⅰ	内田
		金 曜 2 限	フレッシュヤーズ・セミナー	村上 他(入力担当:小長谷)
	2	月 曜 2 限	ITアドバンスト	伊藤(美)、(入力担当:若栗)
		水 曜 1 限	環境科学概論	小瀬、井口、大野

【資料 3_I-2_(3)-2：2023 年度後期モニタリング科目】

2023年度後期 出欠状況調査対象科目

学科	学年	時限	科目名	担当教員(敬称略)
応用生命科学科	1	木 曜 1 限	生物学Ⅱ	山崎、市川
		金 曜 1 限	化学Ⅱ	中村
	2	月 曜 1 限	生化学Ⅱ	市川、井口
生命産業ビジネス学科	1	木 曜 2 限	論理的思考論	伊藤(美)
		金 曜 2 限	英語Ⅱ	高橋歩
	2	水 曜 3 限	経営組織論	中道

I-3. 学生支援活動、キャリア支援活動について（学部、研究科共通）

(1) 学生修学・生活支援について 《点検担当：木村委員、学生支援課》

【資料 3_I-3_(1)-1：応用生命科学部退学休学留年率】

応用生命科学部（2023年度）							
応用生命科学科							
学年	在籍学生数	退学者数	退学率	休学者数	休学率	留年者数	留年率
1	83名	1名	1.2%	2名	2.4%	2名	2.4%
2	104名	6名	5.8%	3名	2.9%	9名	8.7%
3	91名	1名	1.1%	0名	0.0%	3名	3.3%
4	87名	1名	1.1%	1名	1.1%	6名	6.9%
合計	365名	9名	2.5%	6名	1.6%	20名	5.5%
※休学者が退学した場合は、退学者数に含めます。							
生命産業ビジネス学科							
学年	在籍学生数	退学者数	退学率	休学者数	休学率	留年者数	留年率
1	54名	1名	1.9%	0名	0.0%	4名	7.4%
2	24名	0名	0.0%	1名	4.2%	0名	0.0%
3	43名	1名	2.3%	0名	0.0%	2名	4.7%
4	32名	1名	3.1%	0名	0.0%	1名	3.1%
合計	153名	3名	2.0%	1名	0.7%	7名	4.6%

応用生命科学部（2022年度）							
応用生命科学科							
学年	在籍学生数	退学者数	退学率	休学者数	休学率	留年者数	留年率
1	104名	7名	6.7%	0名	0.0%	4名	3.8%
2	105名	5名	4.8%	2名	1.9%	14名	13.3%
3	88名	1名	1.1%	2名	2.3%	1名	1.1%
4	88名	2名	2.3%	2名	2.3%	2名	2.3%
合計	385名	15名	3.9%	6名	1.6%	21名	5.5%
※休学者が退学した場合は、退学者数に含めます。							
※退学者には、命令退学者1名（4年次）を含めます。							
生命産業ビジネス学科							
学年	在籍学生数	退学者数	退学率	休学者数	休学率	留年者数	留年率
1	26名	1名	3.8%	2名	7.7%	4名	15.4%
2	43名	1名	2.3%	1名	2.3%	2名	4.7%
3	36名	2名	5.6%	0名	0.0%	3名	8.3%
4	22名	0名	0.0%	0名	0.0%	0名	0.0%
合計	127名	4名	3.1%	3名	2.4%	9名	7.1%

【資料 3_I-3_(1)-2：2022 年面談基準】

◆ 応用生命科学科									
	必修			教養選択			専門選択		
	進級基準	単位	記号と色	進級基準	単位	記号と色	進級基準	単位	記号と色
1年(225-215) 別表1の1、102	15	1.5～7.5 1.5未満(後期13.5単位取得可能)	△ △	8	2未満	△	-	-	-
2年(215) 別表1の2	41	31～36 31未満	△ △	8	-	-	6	-	-
2年(205) 別表1の3	47	31～40 31未満	△ △	8	-	-	-	-	-
3年(205-195-185) 別表1の3、104	66	65未満 実験1に未修得あり	△ △	8	-	-	-	-	-
4年(195-185) 別表1の3、104	89	79未満	△ △	14	14未満	△	21	21未満	△
4年(185～) 別表1の5	92	82未満	△ △	15	15未満	△	17	17未満	△

◆ 生命産業創造学科									
	必修			教養選択			専門選択		
	進級基準	単位	記号と色	進級基準	単位	記号と色	進級基準	単位	記号と色
1年(225) 別表1の1	22	5～11 5未満(後期17単位取得可能)	△ △	4	-	-	-	-	-
2年(225-215-205) 別表1の2	38	35未満	△ △	8	-	-	10	-	-
2年(205) 別表1の3	41	36未満	△ △	10	-	-	10	-	-
3年(205-195) 別表1の3	50	45未満	△ △	12	-	-	32	22未満	△
3年(175-185) 別表1の4	55	52未満	△ △	10	-	-	28	18未満	△
4年(195) 別表1の3	66	63未満	△ △	14	14未満	△	44	44未満	△

【資料 3_I-3_(1)-3 : アドバイザー活動実施状況】

	1年生			2年生			3年生			4年生		
	活動実施 学生数	在籍 学生数	活動 参加率	活動実施 学生数	在籍 学生数	活動 参加率	活動実施 学生数	在籍 学生数	活動 参加率	活動実施 学生数	在籍 学生数	活動 参加率
応用生命科学科	53	83	63.9%	45	104	43.3%	56	91	61.5%	63	89	70.8%
生命産業ビジネス学科	51	54	94.4%	7	24	29.2%	20	43	46.5%	13	32	40.6%

【資料 3_I-3_(1)-4 : オリエンテーションスケジュール】

2023年度 応用生命科学科 オリエンテーション等日程 1年生		
■4月4日(火)の日程		
・オリエンテーション		
時間	内容	会場
8:30 - 9:30	受付	B303講義室(B棟3F) 教務委員会の説明会から 会場が学科別に分かれます。 応用生命科学科:B303 生命産業ビジネス学科:B301
9:30 - 9:40 (10分)	学部長挨拶	
9:40 - 10:00 (20分)	学生委員会	
10:00 - 10:30 (30分)	IT委員会	
10:30 - 10:40 (10分)	休憩	
10:40 - 10:50 (10分)	キャリア支援委員会	
10:50 - 11:20 (30分)	学友会・事務連絡	
11:20 - 11:30 (10分)	生命産業ビジネス学科教室移動	
11:30 - 12:00 (30分)	教務委員会	
12:00 - 13:00 (60分)	アドバイザー教員紹介・昼食 等	
・健康診断		
時間	内容	会場
13:30-15:10	男子学生の診断	会議室1(A棟3F)
15:20-17:00	女子学生の診断	
・教科書等販売		
時間	内容	会場
13:00-17:00	教科書・分子模型	体育館
	実習用白衣	B102(B棟1F)
	実験用メガネ	
・ICT利用セットアップ (各自の都合で会場へお越しください。)		
時間	内容	会場
13:00-17:00	各自の端末で本学ICTを利用可能とするためのセットアップ作業です。	B105講義室(B棟1F)

【資料 3_I-3_(1)-5 : 学ランマップ 2,000 円チケット実施結果】

新潟薬科大学新入生歓迎会イベント実施結果		
学部	参加者数	チケット利用枚数
薬学部	88	130
応用生命科学部	95	176
医療技術学部	44	94
看護学部	43	77
合計	270	477
※上記以外に学部不明の利用枚数が [※] 、102枚存在		

【資料 3_I-3_(1)-6：スキースノーボードスクール参加者数】

スキー・スノーボードスクール参加者数							
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
薬学部	3	11	7	1	21	3	46
応用生命科学部	4	0	0	0	0	0	4
医療技術学部	1	0	0	0	0	0	1
看護学部	12	0	0	0	0	0	12

【資料 3_I-3_(1)-7：特待生採用者数及び廃止者数一覧】

	特待生採用者	入試特待生廃止決定者	特別指定校廃止決定者
応用生命科学科	10名	0名（対象者1名）	5名（対象者9名）
生命産業創造学科	5名	0名（対象者2名）	2名（対象者4名）

(2) キャリア支援について 《点検担当：杉田委員、キャリア支援課》

【資料 3_I-3_(2)-1：キャリア教育】

学年	目的
1年次	意識付け、自己理解
2年次	職業/業界理解、就活準備
3年次	就活対策
4年次	個別支援

【資料 3_I-3_(2)-2：ガイダンス実施実績（1年生対象）】

日程	時限	内容	形式
4/14(金)	1限	本学及び本学部を学ぶ	グループワーク
4/21(金)	1限	現時点で将来を考える	グループワーク
5/12(金)	1限	社会制度、経済状態、企業研究	講義
5/19(金)	1限	就職活動の予備知識	講義
5/26(金)	1限	社会で活躍する先輩、ビジネスパーソンの話を聞く1	講義（一部動画配信）
6/2(金)	1限	社会で活躍する先輩、ビジネスパーソンの話を聞く2	講義（一部動画配信）
6/9(金)	1限	社会人基礎知識（医療制度、健康保険制度など）	講義
6/16(金)	1限	PROG試験結果からの自己分析	演習
6/23(金)	1限	10年後の目標	講義・演習・課題
6/30(金)	1限	公務の職業について	講義

【資料 3_I-3_(2)-3 : ガイダンス実施実績】

日程	曜日	時限	会場	備考	テーマ及び内容	担当		
4月14日	金	4限	B202	授業	オリエンテーション『キャリアとスキルについて』	キャリア支援委員長		
		5限		授業	『情報の収集と活用方法』	キャリア支援委員長 広報しえん (リクナビ・マイナビ)		
4月21日	金	3限	B202		『就活こころの準備セミナー』	岡田講師		
		4限		授業	『職種理解講座』	キャリア支援委員長		
		5限		授業	『自己分析によるキャリアの棚卸し』	キャリア支援委員長		
5月12日	金	3限	B101		『合説のまわり方とIS参加のメリット』	マイナビ		
		4限	B202		『筆記試験対策講座①(公務員)』	(東京アカデミー)		
6月2日	金	3限	B101		『業界・企業研究の基礎』	リクナビ		
		4限	B202	授業	『文章の書き方講座 ～インターンシップ選考対策』	キャリア支援委員長 広報しえん		
				5限	授業	『業界理解講座Ⅰ』	キャリア支援委員長 マイナビ	
6月30日	金	3限	カフェテリア	授業	『業界理解講座Ⅱ』学内インターンシップマッチング合説	キャリア支援委員長 企業担当者ほか		
		4限	カフェテリア					
7月7日	金	3限	B101		『インターンシップ事前学習』	岡田講師		
		4限	B202	授業	『インターンシップ事前学習』	キャリア支援委員長 岡田講師		
7月14日	金	3限	別途連絡		『インターンシップ準備講座』グループワーク演習	キャリア支援委員会 キャリア支援室 ほか		
		4限	別途連絡					
夏休み		ナビサイトや企業が独自で募集するインターンシップに参加						
9月下旬～			WEB	※	筆記試験対策講座① 申込み9月上旬～中旬	(サポートシステム)		
9月下旬～			WEB		PROGテスト受験	(リアセック)		
11月～			WEB	◎	筆記試験対策講座② 申込み10月中旬	(あさ学ナビ)		
9月25日	月	3限	NE401	授業	オリエンテーション 『先輩からのアドバイス』4年生による就活体験談を聞く	キャリア支援委員会 岡田講師		
		4限			『就職キックオフセミナー』 ・本格的活動開始に向けての具体的アドバイス	岡田講師		
10月2日	月	3限	NE401		『自分を知る』実践 ・ワークによる自己分析	岡田講師		
		4限			『就活マナーセミナー』 ・就職活動におけるマナー再確認	岡田講師		
10月16日	月	3限	NE401		『企業研究実践講座』① ～求人情報の読み方	マイナビ		
		4限			『企業研究実践講座』② ～志望企業の広げ方、企業比較	キャリア支援委員長 リクナビ		
10月23日	月	3限	別途連絡	授業	『プレゼンテーション力の強化Ⅰ』 ・グループディスカッション演習(企業研究)	キャリア支援委員会		
		4限	別途連絡	授業	『プレゼンテーション力の強化Ⅱ』 ・グループディスカッション演習(企業研究)			
10月30日	月	3限	NE401		『企業研究実践講座』③ ・採用担当者によるパネルディスカッション	広報しえん 企業担当者		
		4限			『PROGテスト』解説 ・PROG結果の返却と解説講座	リアセック		
11月6日	月	3限	NE401	◎	スーツ着こなしセミナー	外部講師		
		4限		◎	メイクセミナー	外部講師		
11月13日	月	3限	NE401		『自己PR・志望理由作成実践講座』	矢島講師		
		4限						
11月20日	月	3限	NE401		『エントリーシート、履歴書の書き方』 ・応募書類の書き方の具体的指導	岡田講師		
		4限						
11月27日	月	3限	NE401		『SPI模擬試験総合解説』	サポートシステム		
		4限						
12月4日	月	3限	NE401		『効果的な面接の受け方』 ・面接の種類や対応策を学ぶ	岡田講師		
		4限		授業	『文章力の強化』 ・自己PR、ガクチカ個別添削	キャリア支援委員会 外部講師 ほか		
12月11日	月	3限	別途連絡	授業	『WEB面接体験』	キャリア支援委員会 外部講師 ほか		
		4限						
12月18日	月	3限	別途連絡	授業	『グループ面接演習』・対面による面接演習	キャリア支援委員会 外部講師 ほか		
		4限		授業	『コミュニケーション力の強化』・対面による面接演習			
12月25日	月	3限	WEB	◎	医薬・治療WEBセミナー	企業担当者		
		4限		◎				
1月15日	月	3限	NE401	授業	『実際の就職活動に向けて』 『学内合同企業説明会への参加に向けて』	キャリア支援委員長 キャリア支援室		
		4限			ナビサイトのエントリースケジュールと、ナビ経由のES提出方法について、注意事項ほか	リクナビ、マイナビ		
1月22日	月	3限	別途連絡	◎	『グループディスカッション実践演習』	キャリア支援委員会 キャリア支援室		
		4限						
2/6～7	火、水	対面	講義室	◎	『学内合同企業説明会』			
2月14日	水	WEB		◎	『学内合同企業説明会』			

【資料 3_I-3_(2)-4 : ガイダンス実施実績 (学内合同企業説明会)】

	2023年度	2022年度
対象学生	・24卒就活生 (学部3年生 : 118名、院1年生 : 7名) ・学部2年生及び大学院進学予定の4年生のうち希望者	・23卒就活生 (学部3年生 : 121人、院1年生 : 9人) ・学部2年生及び大学院進学予定の4年生のうち希望者
開催日程 開催方法	◆対面 (AM/PMで企業を入替え) ①2024年2月6日 (火) ②2023年2月7日 (水) ◆ZOOMによるライブ配信 (PMのみ) ③2023年2月14日 (水) 1社25分説明を4回	◆対面 (AM/PMで企業を入替え) ①2023年1月31日 (火) ②2023年2月8日 (水) ◆ZOOMによるライブ配信 (PMのみ) ③2023年2月9日 (木) 1社25分説明を4回
参加企業数	合計101社 (2/6 : 42社、2/7 : 45社、2/14 : 14社)	合計90社 (1/31 : 36社、2/8 : 35社、2/28 : 19社)
参加学生数	参加者延べ人数 : 716人 (対面676人、ZOOM40人)	参加者全体の延べ人数 1023人

【資料 3_I-3_(2)-5 : 就職/進学状況】

2024年3月卒業生 : 111人

就職希望	85人	教職希望	14人	進学希望	9人	合計 108人
(応用)	(58人)	(応用)	(14人)	(応用)	(8人)	
(生産)	(27人)	(生産)	—	(生産)	(1人)	
内定者	85人	教職希望	14人	進学希望	9人	合計 108人
(応用)	(58人)	(応用)	(14人)	(応用)	(8人)	
(生産)	(27人)	(生産)	—	(生産)	(1人)	
内定率	100%	内定率	100%	合格率	100%	合計 100%
(応用)	100%	(応用)	100%	(応用)	100%	
(生産)	100%	(生産)	—	(生産)	—	

I-4. AP、CP、DP、3方針の整合性について ≪点検担当：高久委員長、重松委員、教務第一課、小瀬委員、入試課≫

【資料 3_I-4-1 : 2023 年度応用生命学科卒業生 DP ルーブリック評価】

No.	応用生命学科 ディプロマ・ポリシー (DP)	自己評価 (学生) 平均	客観的評価 (担当教員) 平均
1-1	1. 生命を尊重する心、他人を思いやる心などの豊かな人間性と倫理観を備え、人と人との共感の累積をめざすコミュニケーション能力を有する。	2.51	2.93
1-2	生命を尊重する心、他人を思いやる心などの豊かな人間性と倫理観、人類・地域に貢献する意欲・姿勢を備え、行動できる。 人と人との共感の累積をめざす人間関係形成ができる。	2.55	3.06
2	2. バイオ工学・環境科学・食品科学を包括する生命科学分野、理科教育分野の抱える課題を探究し解決するために、高度な知識・技能を備え、それらを応用できる能力を有する。	2.66	3.01
3	3. 数量的スキル及び情報リテラシーを身に付け、各種情報を収集、分析して適正に判断し、活用できる能力を有する。	2.54	3.02
4	4. 修得した科学的知識や洞察力に基づき、客観的かつ論理的に思考し、理解を得るための優れたプレゼンテーションができる能力を有する。	2.51	3.13
5	5. 地域的視点と国際的視野を持ち、学修経験を総合的に活用することで、地域及び国際社会の諸問題の本質を見極めながら課題を探究する能力と課題を解決する能力を有する。	2.51	2.87
	全体平均	2.55	3.00

【資料 3_I-4-2：2023 年度生命産業創造学科卒業生 DP ルーブリック評価】

No.	生命産業創造学科 ディプロマ・ポリシー(DP)	自己評価 (学生) 平均	客観的評価 (担当教員) 平均
1-1	1. 生命を尊重する心、他人を思いやる心を持つ豊かな人間性と倫理観を備え、人と人との共感の累積をめざすコミュニケーション能力を有する。	2.37	3.13
1-2	生命を尊重する心、他人を思いやる心などの豊かな人間性と倫理観、人類・地域に貢献する意欲・姿勢を備え、行動できる。	2.63	3.43
2	2. 生命・食料・農業・環境に関わる産業領域の課題に取り組む、基盤となる幅広い知識と教養を備え、柔軟な思考力を有する。	2.50	3.20
3	3. 農林水産業及び食品・環境・生命産業の事業の経営課題に取り組むための広い視野と積極的な意欲を持てる能力を有する。	2.33	2.93
4	4. ICTを用いて情報を収集・分析し、適正に判断して活用できる能力を有する。	2.27	3.03
5	5. 修得した科学的知識や洞察力に基づき、客観的かつ論理的に思考し、プレゼンテーションできる能力を有する。	2.60	3.20
6	6. 地域社会と国際社会の変化に注視し、広い視野を持って積極的に活躍しようとする意欲を持続できる能力を有する。	2.53	3.40
	全体平均	2.46	3.19

【資料 3_I-4-3：AP および入試成績と成績順位の相関関係】

専願入試（成績順位 vs 入試順位）

専願入試（成績順位 vs 学習成績の状況）
相関関係

Ⅱ. 研究活動について（学部、研究科共通） 《点検担当：高久委員長、基盤整備課》

【資料 3_Ⅱ-1：2023 年度 応用生命科学部 研究業績】

研究業績	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度	2019年度
学術論文（編）	27	37	33	25	46
著書（編）	8	6	8	7	1
総説（編）	9	10	7	4	6
翻訳（編）	1	1	1	1	1
辞書（編）	0	1	1	0	0
国内学会発表（件）	104	83	52	48	118
国外学会発表（件）	4	5	5	3	8

【資料 3_Ⅱ-2：2023 年度 応用生命科学部 外部資金獲得状況】

研究費名	2023年度		2022年度		2021年度		2020年度		2019年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
科学研究費補助金（研究代表者）	12	22,428,082	12	23,475,409	9	17,195,962	12	16,766,911	9	15,896,691
科学研究費補助金（研究分担者）	5	2,350,100	2	1,040,000	3	589,597	4	975,000	7	2,649,492
共同研究費	12	28,399,500	11	11,837,000	12	17,527,000	15	14,239,885	14	9,500,292
受託研究費	12	18,393,290	12	45,378,580	12	54,338,000	17	76,021,780	15	55,163,868
奨学寄付金・助成金	11	7,015,000	9	7,300,000	16	6,500,000	9	5,950,000	16	9,703,260
研究以外の受託業務（技術指導、教育連携事業等）	4	2,619,000	4	1,691,800	3	1,266,292	2	150,000	4	1,320,000
合計	56	81,204,972	50	90,722,789	55	97,416,851	59	114,103,576	65	94,233,603

Ⅲ. 社会連携・社会貢献活動について（学部、研究科共通）

Ⅲ-1. 国際交流について 《点検担当：高久委員長、学事課》

【資料 3_Ⅲ-1-1：2023 年度海外協定校一覧】

	海外協定校名	国・地域	締結
1	マサチューセッツ薬科健康科学大学	米国	2002年8月28日
2	長春中医薬大学	中国・吉林省	2011年5月5日
3	首都医科大学	中国・北京市	2011年10月28日
4	ニューヨーク州立大学フレドニア校	米国	2013年10月28日
5	カリフォルニア大学デービス校	米国	2015年9月17日
6	ナント大学	フランス	2016年4月22日
7	西シドニー大学	オーストラリア	2017年9月19日
8	忠南大学校	韓国	2018年1月31日
9	ランシット大学	タイ	2018年2月
10	ウィーン大学	オーストリア	2019年6月18日
11	マニラ・セントラル大学	フィリピン	2021年9月3日
12	モンゴル文化教育大学	モンゴル	2023年11月2日
13	オーダムモンゴル小中高一貫学校	モンゴル	2023年11月2日
14	新モンゴル日馬富士学園	モンゴル	2023年11月25日
15	マヒドン大学	タイ	2023年12月

【資料 3_Ⅲ-1-2：2023 年度学生海外派遣事業参加実績】

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2023年度
マサチューセッツ薬科健康科学大学（米国）	15	-	3	-	-
海外短期語学研修（米国）	2	2	-	-	-
国立忠南大学校（韓国）	-	1	2	-	-
西シドニー大学（オーストラリア）	10	4	-	オンライン1	10

※2020～2022年度は新型コロナウイルスの影響により派遣事業中止

Ⅲ-2. 高大連携について <<点検担当：新井委員、教務第一課>>

【資料 3_Ⅲ-2-1 申込者、修了証授与者、入学者数】

応用生命科学講座			
年度	申込者	修了者	入学者
2022年度	25	13	8
2023年度	16	8	13※
2022年度修了者(3年生10名、2年生3名)			
2023年度修了者(3年生8名)			
※修了証を授与されずに入学した者5名を含む			

生命産業ビジネス講座			
年度	申込者	修了者	入学者
2022年度	14	9	6
2023年度	19	11	13※
2022年度修了者(3年生7名、2年生2名)			
2023年度修了者(3年生8名、2年生2名、1年生1名)			
※修了証を授与されずに入学した者5名を含む			

【資料 3_Ⅲ-2-2 新潟県内及び新潟県外の申請件数および採択件数】

研究系部活動支援事業 申請件数内訳				
年度	申請校数	申請件数		
		新潟県内	新潟県外	計
2021	15	6	10	16
2022	14	5	9	14
2023	14	8	7	15
研究系部活動支援事業 採択件数内訳				
年度	採択校数	採択件数		
		新潟県内	新潟県外	計
2021	15(7)	6(0)	10(7)	16(7)
2022	12(4)	5(2)	7(2)	12(4)
2023	14(2)	8(1)	7(1)	15(2)
※括弧内の数値は新規採択				

Ⅲ-3. 地域連携について <<点検担当：伊藤委員、学事課>>

【資料 3_Ⅲ-3-1：2023 年度の主な地域連携活動の一覧】

日付	連携機関	活動名(会議名)
2023年6月5日	新津商工会議所	にいつまちづくり全体会(総会)
2023年6月6日	新潟市秋葉区・新潟薬科大学・ 商工団体による三者協議会	新潟薬科大学との連携によるまちなか活性化 実行委員会
2023年7月21日	新潟市秋葉区	令和5年度 秋葉里山みらい会議
2023年8月4日	田上町	第10回大学連携協議会
2023年8月22日	新潟市秋葉区	令和5年度 Akiha教育懇談会
2023年11月21日	新潟薬科大学との連携による まちなか活性化実行委員会	令和5年度 新潟市秋葉区と 新潟薬科大学との連絡協議会
2024年3月21日	新潟薬科大学との連携による まちなか活性化実行委員会	新潟薬科大学との連携による まちなか活性化実行委員会「全体会議」

Ⅳ. 教員・教員組織について

Ⅳ-1. 教員組織について <<点検担当：高久委員長、学事課>>

【資料 3_IV-1-1：設置基準上必要専任教員数【学士課程】】

設置基準上必要専任教員数【学士課程】(2023年5月1日現在)

※特任教員2名含む

本学組織	収容 定員	設置基準上必要数		本学教員数	
		教員数 (助手除く)	教授数	教員数 (助手除く)	教授数
応用生命科学部 応用生命科学科	480	10	5	21	8
応用生命科学部 生命産業創造学科/ 生命産業ビジネス学科	225	8	4	8	6

【資料 3_IV-1-2：教員の年齢構成表】

年齢構成表(2023年5月1日現在)

年齢	応用生命科学部			総数に占める割合
	応用生命科学科	生命産業創造学科 /生命産業ビジネス学科	学部計	
20代	1	0	1	3.4%
30代	2	0	2	6.9%
40代	4	2	6	20.7%
50代	7	5	12	41.4%
60代	5	1	6	20.7%
70代	2	0	2	6.9%
合計	21	8	29	100.0%

※助手を除く

【資料 3_IV-1-3：教員別授業担当時間数】

	職位	担当毎 年間総時間		職位	担当毎 年間総時間
1	准教授	326	17	教授	290
2	教授	252	18	教授	303
3	准教授	247	19	教授	372
4	助教	316	20	准教授	311
5	准教授	308	21	准教授	240
6	教授	265	22	教授	378
7	教授	352	23	教授	78
8	助教	91	24	助教	126
9	教授	195	25	准教授	46
10	准教授	201	26	教授	275
11	教授	263	27	教授	218
12	助手	170	28	助手	70
13	教授	249	29	准教授	306
14	教授	370	30	准教授	184
15	講師	418	31	教授	324
16	助教	209		平均	250

IV-2. FD 活動について（学部、研究科共通） ≪点検担当：高久委員長、教務第一課≫

【資料 3_IV-2-1：2022 年度 FD 研修会一覧】

2022年度 FD研修会実施一覧

実施日	対象	参加者数	参加率	内容
8/19(金)	全学	40	51.3%	高等教育機関における学修困難な学生への修学支援・就労支援～発達障害の特性がある学生を中心に～ 高等教育コンソーシアム久留米
8/26(金)	応用生命科学部	25	83.3%	コンピテンシーと達成度評価用のルーブリックの作成に関するワークショップ 杉原教授（副学長）
8/29(月)	全学	26	33.3%	障がい学生支援研修会 岡山大学教育推進機構
9/5(月)	薬学研究科	39	90.7%	博士課程の現状と将来、本学大学院の今後の社会的な役割とニーズ 星名教授（薬学研究科入試委員長）
9/16(金)	応用生命科学部	23	76.7%	今後の大学院における教育・研究と入試のあり方 木村教授（応用生命科学部研究科教務委員長）
10/7(金)	全学	49	62.8%	「情報技術研究講習会」参加報告 ～ウィズ&ポストコロナ時代における大学に求められる新しい学びの方法、授業づくりを考える～ 飯村教授（薬学教育センター長） 共通化科目「情報リテラシ（基礎・応用）」について、および、データ分析の一例から学ぶ 星名教授（数理データサイエンス教育推進専門委員長）
11/14(月)	全学	24	30.8%	健康寿命延伸に向けたデータサイエンス活用の有効性について 株式会社アイセック 代表取締役 木村 大地 氏 富永教授、星名教授（数理データサイエンス教育推進専門委員）
2/21(火)	薬学部	28	65.1%	（第一部）『第2期薬学教育評価の方向性』 （第二部）『薬学教育モデル・コアカリ改訂について』 杉原教授（副学長）

【資料 3_IV-2-2：2023 年度 FD 研修会一覧】

2023年度FD研修会一覧

	実施日	テーマ	参加率				
			率	応	検	看	
1	2023/7/12(水)	臨床検査技師教育における臨地実習の現状について	5.1	0.0	100.0	0.0	検教員推奨
2	2023/8/21(月)	コンピテンシーと達成度評価用ルーブリック	0.0	90.3	0.0	0.0	応教員推奨
3	2023/8/30(水)	学部・研究科レベルでの質保証活動を実質化するために	61.5	45.2	46.7	28.6	全教員推奨
4	2023/9/11(月)	指定規則の第5次改正に伴う看護学教育における教育内容の検討	5.1	0.0	0.0	100.0	看教員推奨
5	2023/10/23(月)	「令和4年度薬学教育モデル・コア・カリキュラム」－カリキュラムは誰のためにあるのか－	5.1	0.0	6.7	0.0	薬教員推奨
6	2024/3/15(金)	大学院生の学習・研究支援の改善と大学院生・学部生へのキャリアパスの提示	5.1	48.4	0.0	0.0	応教員推奨

V. 定員・学費の適切性について 《点検担当：高久委員長、学事課》

【資料 3_V-1：応用生命科学部 収容定員充足率】

・応用生命科学部 在籍者数 ※学校基本調査に準じて記載

学科名	収容定員	在学者数	収容定員充足率
応用生命科学学科	480	365	76%
生命産業創造学科/生命産業ビジネス学科	225	153	68%
合計	705	518	73.5%

【資料 3_V-2：応用生命科学部 入学定員充足率】

・応用生命科学部 入学者数 ※学校基本調査に準じて記載

入学年度	学科名	入学定員	入学者数	入学定員充足率	
2020	応用生命科学学科	120	101	84%	76%
	生命産業創造学科	60	35	58%	
2021	応用生命科学学科	120	108	90%	79%
	生命産業創造学科	60	35	58%	
2022	応用生命科学学科	120	97	81%	68%
	生命産業創造学科	60	26	43%	
2023	応用生命科学学科	120	80	67%	79%
	生命産業ビジネス学科	45	51	113%	
2024	応用生命科学学科	120	78	65%	80%
	生命産業ビジネス学科	45	54	120%	

【資料 3_V-3：応用生命科学部 学費】

学部名	学科名	年次	学期	入学金	授業料	施設設備資金	合計
応用生命科学部	応用生命科学科	1年次	前期	300,000	450,000	100,000	850,000
			後期	0	450,000	300,000	750,000
			合計	300,000	900,000	400,000	1,600,000
		2年次以降	前期	0	450,000	300,000	750,000
			後期	0	450,000	300,000	750,000
			合計	0	900,000	600,000	1,500,000
	生命産業創造学科/ 生命産業ビジネス学科	1年次	前期	300,000	400,000	100,000	800,000
			後期	0	400,000	100,000	500,000
			合計	300,000	800,000	200,000	1,300,000
		2年次以降	前期	0	400,000	200,000	600,000
			後期	0	400,000	200,000	600,000
			合計	0	800,000	400,000	1,200,000

4. 大学院応用生命科学研究科 自己点検・評価

I. 教育活動について

I-1. 学生の受入れについて <<点検担当：中村委員、入試課>>

【資料 4_I-1-1：大学院入試結果】

大学院入試結果

応用生命科学研究科博士前期課程（応用生命科学コース・理科教職専修コース）

入試年度		志願者	受験者	合格者	入学者
2023	1期	6	6	5	5
	2期	0	0	0	0
2024	1期	5	5	2	2
	2期	6	6	6	6

応用生命科学研究科博士後期課程

入試年度	志願者	受験者	合格者	入学者
2023	0	0	0	0
2024	0	0	0	0

I-2. 教育課程、学修成果、授業運営について <<点検担当：重松委員、教務第一課>>

I-3. AP、CP、DP、3 方針の整合性について 《点検担当：高久委員長、重松委員、教務第一課、中村委員、入試課》

【資料 4_I-3-1：2023 年度応用生命科学研究科博士前期課程修士 DP ルーブリック評価】

No.	2021年度からのディプロマポリシー(DP)		評価対象	自己評価 (学生) 平均	客観的評価 (担当教員) 平均
1-1	1. プロフェッショナリズム	信頼されるプロフェッショナルとして社会に貢献する使命感をもち、法令を遵守し、応用生命科学に携わる研究者を目指す者としての倫理観をもって行動できる。	研究室における研究姿勢、研究リテラシー1履修状況	3.13	3.75
1-2		前例のない課題に対しても積極的に取り組み、解決に向けた方策を考えることができる。	研究室での討議・学内外での発表	3.13	3.75
1-3		常に自己を評価・省察し、自己研鑽を圆することができる。	ルーブリック等を用了自己省察	3.00	3.25
1-4		後進指導の重要性を理解し、次世代を担う人材を育成することができる。	研究室における後進指導、TAとしての指導状況	3.63	4.00
2-1	2. コミュニケーション力	他者を尊重し、協調・協働的に課題を解決することができる良好な人間関係を構築できる。	協調性	3.63	3.75
2-2		外国語文献から情報を収集し、さらに研究内容について討議し、研究成果を発信できる。	論文読解	3.00	3.50
2-3			セミナー・学会等での口頭発表、文章作成能力	3.00	3.75
3-1	3. 応用生命科学関連領域の高度な専門知識・技能	食品科学、バイオテクノロジー、生命化学及び環境化学に関する高度な専門知識・技能を修得する。	大学院指導計画書に対する達成度	3.38	3.50
3-2			研究室での討議・学内外での発表内容	3.13	3.38
4-1	4. 問題発見・解決力	食品科学、バイオテクノロジー、生命化学及び環境化学関連領域における諸問題を発見し、必要な情報を収集・評価して論理的思考をもとに研究計画を立て、柔軟な思考と深い洞察に基づいて研究を遂行することができる。	大学院指導計画書の内容に対する達成度	3.13	3.25
4-2			研究状況	3.25	3.63
5	5. 社会貢献力	社会が抱える諸問題を客観的・数量的に分析し、その本質を捉え、科学的・論理的な思考に基づく解決策の提案を通して、信頼されるプロフェッショナルとして社会の発展に貢献できる。	研究室での討議、研究状況	3.25	3.63

II. 教員・教員組織について 《点検担当：高久委員長、学事課》

【資料 4_II-1：設置基準上必要専任教員数【大学院課程】】

設置基準上必要専任教員数【大学院課程】（2023年5月1日現在）

研究科	専攻	収容定員	設置基準上必要数				本学教員数		
			研究指導教員数	うち教授数	研究指導補助教員数	計	研究指導教員数	うち教授数	研究指導補助教員数
応用生命科学研究科	応用生命科学専攻 (博士前期課程) ・応用生命科学コース ・理科教職専修コース	16	4	3	2	6	19	11	0
	応用生命科学専攻 (博士前期課程) ・薬科学コース						25	16	0
	応用生命科学専攻 (博士後期課程)	9	4	3	4	8	8	8	0

※助手除く

Ⅲ. 定員・学費の適切性について <<点検担当：高久委員長、学事課>>

【資料 4_Ⅲ-1：応用生命科学研究科 収容定員充足率】

・大学院 在籍者数 ※学校基本調査に準じて記載

学科名	課程	収容定員	在学者数	収容定員 充足率	うち 社会人	うち 留学生
応用生命科学研究科	博士前期課程	16	14	88%	0	0
	博士後期課程	9	4	44%	1	0
合計		25	18	72.0%	1	0

【資料 4_Ⅲ-2：応用生命科学研究科 入学定員充足率】

・大学院 入学者数 ※学校基本調査に準じて記載

入学年度	学科名	課程	入学定員	入学者数	入学定員 充足率
2020	応用生命科学科	博士前期課程	8	6	75%
		博士後期課程	3	2	67%
2021	応用生命科学科	博士前期課程	8	8	100%
		博士後期課程	3	0	0%
2022	応用生命科学科	博士前期課程	8	9	113%
		博士後期課程	3	1	33%
2023	応用生命科学科	博士前期課程	8	5	63%
		博士後期課程	3	1	33%
2024	応用生命科学科	博士前期課程	8	8	100%
		博士後期課程	3	0	0%